

都市計画税の減税2億1千万円 2024年度から3年間で

2023年6月議会 一般質問

浅川議員 都市計画税の軽減措置が2023年度までとなっている。物価高騰が続いており来年度以降も継続をすべきではないか。

財務部長 総合的に判断した結果、現在の税率になっている。来年度以降については、現在検討中。



2023年12月議会 議案審議

浅川議員 6月議会で検討中だったが、今回の条例改正になった経過について聞く。

財務部長 物価高騰という経済状況が続いていることから軽減税率を継続する判断をした。

浅川議員 市財政にはどれくらいの影響があるのか。

財務部長 年間7千万円程度の減収、3年間で2億1千万円の減収になる。

浅川議員 税収が減っても市民生活を支えるために都市計画税の軽減



措置を取ったことを市民に広報してもらいたい。

酒井市長 減収になるが、議会の協力も得ながら景気の動向に対応していることについて、広報のあり方は検討したい。



南口のまちづくりについて 地域の声を聞いてほしい

南口周辺では、昨年8月に高砂湯、9月にオリオン書房、12月にいなげやが閉店し、地域の方から市民が利用する商店などの閉店はショックだという声を紹介して南口の課題やにぎわいのある取り組みについて質問しました。

浅川議員 南口の現状について市としての認識を聞く。

酒井市長 長年営業を続けてきた店舗の相次ぐ閉店は驚きをもって受け止めている。残念ではあるものの市としてはいかんともし難いと認識している。

浅川議員 市長が地域の会合や懇親会に出たときに、少しでも残って話を聞いてほしいという声があるがどうか。

酒井市長 時間の許す限り、地域の方々との懇談の場をつくっていきたい。

浅川議員 柴崎中央公園は、日常は使えない状態が続いている。解放できないか。

市部長 開園当初、公園内で飲酒による暴行事件などがあり条件付き開園としているが、地域住民の方から開園の要望等があれば検討したい。

浅川議員 コトリンクを開設して1年半になるが、課題や今後の取り組みについて聞く。

市部長 一定程度の貢献は出来たと考えるが、大きな回遊性の創出には至っていない。まちづくり協議会や商店街連合会と協力するとともに回遊性創出の取り組みを行っていく。

浅川議員 諏訪の森広場の活用状況を聞く。

市部長 広場の使用申請件数は伸びておらず、令和3年度は5日間、令和4年度は4日間にとどまっている。

浅川議員 楽市など市が行うイベントが北口に偏っているのは何故か。

市部長 南口には、広さを確保することが難しい。今後、南口でのイベントのあり方については、地域の皆様と意見交換しながら検討したい。

浅川議員 課題があっても難しいところがあるかもしれないが、積極的に取り組んでもらいたい。



日本共産党市議会議員

浅川 修一 市政報告

立川市議会の動画もご覧ください▶

